

こんにちは 牛越です

【第163回】
一步踏み出す春



大町市長
牛越 徹

いよいよ4月、新年度に進めるいくつかのプロジェクトが動き出しました。

先月7日、大町温泉郷未来検討会議が「温泉郷2030年ビジョン」を策定し、計画に沿った取り組みが始まります。計画では、近隣エリア唯一の温泉郷の独自性を生かして、宿泊施設のグレードのいっそうの高付加価値化や、鹿島川河川敷の親水公園整備に向けて検討を始めるとともに、周辺エリア全体を受け皿として、豊かな自然を生かした長期の滞在と、国内外からの誘客を目指します。

また8日には、市文化芸術振興審議会が発足し、新年度末を目的に、文化芸術振興条例の制定と振興計画の策定を目指し、審議が始まりました。審議会は、従前、美術資料評価のための調査研究を所掌していた、美術専門審議会を改組し、委員を8名から18名に増員して、学識経験者のほか、文化芸術やまちづくり活動の皆様などに、ご就任いただきました。

現在、市内では数多くのサークル活動や文化芸術活動が開

され、地域に元氣と潤いをもたらしています。また、こうした活発な活動は、まちづくりの原動力となる「人」を育み、人と人を、人と地域を、そして地域と地域のつながりを生み出します。文化芸術条例は、この人づくりを基軸とし、教育や福祉、環境などさまざまな分野を包括して、文化芸術施策を総合的に推進することを目指すものです。大町で心豊かに暮らす、市民の皆様の活動が大きく広がり、文化溢れるまちづくりに結びつくことを期待します。

ところで、先月末をもって市役所の食堂が幕を閉じました。間近に北アルプスの山並みを仰ぐ眺望も好評で、市職員のほか近隣や来庁される皆様に親しまれ、37年もの間、小野博士さん夫妻がスタッフの皆さんとともに、毎日おいしい食事を提供していただきました。ワンコインの日替わり定食はじめカツ丼やカレー、ラーメンなど、人気のメニューも豊富で、ご高齢のこともあったとはいえ、閉店を惜しむ声が市民の方からも寄せられました。長い間の「尽力」に感謝いたします。